

「北九州SDGs登録制度」申請書

北九州市長 様

所在地 北九州市八幡東区中央2丁目14-17

団体名 NPO法人フードバンク北九州ライフアゲイン

代表者 原田 昌樹

「北九州SDGs登録制度」について、関係書類を添付の上、下記のとおり申請します。

団体概要

(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじんふーどばんくきたきゅうしゅうらいふあげいん	
団体名	特定非営利活動法人フードバンク北九州ライフアゲイン	
(ふりがな)	はらだ まさき	
代表者氏名	原田 昌樹	
所在地	市内事業所	北九州市八幡東区 中央2丁目14-17
	主たる事業所	
事業概要	企業や農家あるいは個人から食品を提供してもらい、必要としている福祉施設や個人に届けることで、食べ物を大切にすることの意識の醸成を図るとともに、貧困と孤立により困窮する人々を生み出さない地域社会づくりを行う。また将来を担う子どもたちが、環境に左右されずに、明るく健康に育つための支援を行っている。	
企業・NPO法人等の別	NPO法人等（企業以外）	
業種（企業のみ）		
従業員数（企業のみ）		
ホームページの有無	有	
ホームページURL	https://fbkitag.net/	

連絡先

担当部署	理事
担当者	八百屋 さやか
電話番号	080-1929-5598
メールアドレス	parakeet8@gmail.com

提出書類

- ・様式1：SDGs達成に向けた取組状況（チェックシート）
- ・様式2：SDGs達成に向けた宣言書
- ・様式3：地域課題への取組み

SDGs達成に向けた取組状況(チェックシート)

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット			具体的な取組内容	最も関連性のあるゴール・ターゲット	最も関連性のある「北九州市SDG未来都市計画」の指標や取組
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	環境 (CO2削減)					<ul style="list-style-type: none"> 電力使用量の記録や、事務所の電力使用量削減のため省エネ行動指針を作成している。 燃費の高い冷凍車の使用から、断熱性能の高い運搬ボックスを用いることで、運搬に掛かるエネルギー量の削減を図っている(実証段階)。 	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール13	環境(1)②
								ターゲット	具体的な取組
2	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R(リデュース、リユース、リサイクル)を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	環境 (廃棄物削減)	北九州市3R活動推進表彰				<ul style="list-style-type: none"> 食品関連企業や家庭から発生する食品ロスを寄贈いただき、必要な方に提供するフードバンク活動を実施している。 	ゴール	指標
				9.4	12.3、12.5	13.3		ゴール12	環境(2)①
								ターゲット	具体的な取組
3	事業に伴う調達(原材料、部品、資材、サービス、使用する設備や事務用品等)について、環境負荷や人権などに配慮している。	環境・社会 { サプライチェーン管理 }					<ul style="list-style-type: none"> 食品ロスの地産地消を進めるため、県内の事業者からの食品や農作物を受け入れている。 封筒など紙製品は、間伐材クレジツトパルプの使用やPEFC(森林認証制度)用紙を使用している。 	ゴール	指標
				10.2	12.2	13.3		ゴール13	環境(1)②
								ターゲット	具体的な取組
4	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に取り組んでいる。	経済・社会 (技術向上)					<ul style="list-style-type: none"> 福岡県リサイクル総合事業化センターの実証事業に参画し、食品ロスのトレーサビリティを効率的に実施するシステム構築を実施している。 食品の品質管理のため、冷蔵・冷凍設備の温度管理、室温管理を行っている。 	ゴール	指標
				8.2	9.5	12.5		ゴール9	環境(2)①
								ターゲット	具体的な取組
5	環境に配慮した商品やサービスの開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	環境・経済・社会 (商品開発)					<ul style="list-style-type: none"> 子ども食堂を運営している。 市内の飲食店を中心に、食事とともに子ども食堂に寄付ができる「ランチフォー・チルドレン」の展開を行っている。 一般の学習塾に遠いづらい※子どもたちを対象に「オンラインワン学習塾」を運営している。 ※経済的な余裕がない、学力が低い、不登校、発達障害などの状況にある子ども 	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール1	社会(4)②
								ターゲット	具体的な取組
6	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	経済・社会 { 労働環境整備 }					<ul style="list-style-type: none"> 業務の互換性を高め、休暇を取得しやすいような勤労体制を構築 従業員に対して団体の運営方針、就業規則を周知徹底 タイムカードや業務用PCの管理等により労働時間を正確に把握 在宅勤務、フレックスタイムなどの柔軟な勤務体制を実施 	ゴール	指標
				3.4	5.5	8.8		ゴール8	経済(2)②
								ターゲット	具体的な取組
7	年齢、性別、国籍、障害の有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備等により、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。	社会 { ジェンダー平等 }					<ul style="list-style-type: none"> (対外的な取組)主に子育て世帯を支援することで、親が不安なく働ける環境づくりを行うとともに、その子女にとってより良い環境が整備されるよう取組を行っている。 (内部環境の整備)子育て中の女性が働きやすいよう、職場への「子連れ出勤」ができるなど、コロナ感染症による教育・保育施設の休校・休園に対応する。 障害のある方もボランティアとして社会参画できる環境を整備している。 	ゴール	指標
				5.5	8.5、8.8	10.2		ゴール10	社会(1)②
								ターゲット	具体的な取組
8	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメントなど、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	社会 { ハラスメント防止 }					<ul style="list-style-type: none"> 「倫理規定」、「利益相反防止に関する規定」、「コンプライアンス規定」、「内部通報規定」を作成し、コンプライアンス委員会を設置している。 今後、ハラスメントに関する研修を実施予定。 	ゴール	指標
				5.1、5.4	8.8			ゴール5	社会(1)②
								ターゲット	具体的な取組
9	疾病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	社会 (健康経営)					<ul style="list-style-type: none"> 感染症の拡大を防止するため、密にならない職場環境を整備している。 職場入室時の検温や日々の健康確認、職員の健康診断受診を推進している。 疾病時に休みを取りやすいように、日ごから業務内容の共有を行う。 	ゴール	指標
				3.4	8.8			ゴール8	社会(5)①
								ターゲット	具体的な取組
10	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受入れなど、社内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。	経済・社会 (人材育成)					<ul style="list-style-type: none"> 団体内職員への研修を年3回程度行っている。 職員の外部研修の受講を推進している。 教育機関や企業への講演会、シンポジウムなどを実施している。 年に2回程度(春・夏)インターンシップ生の受入れを行っている。 一般の塾に通いづらい子どもたちに対する無料塾の提供を行っている。 	ゴール	指標
				4.4	8.2、8.6	17.17		ゴール4	社会(4)②
								ターゲット	具体的な取組
11	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄・不正競争行為の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	社会 (不正防止)					<ul style="list-style-type: none"> 「倫理規定」、「利益相反防止に関する規定」、「コンプライアンス規定」、「内部通報規定」を作成し、コンプライアンス委員会を設置している。 	ゴール	指標
				16.1、16.3、16.5				ゴール16	社会(2)③
								ターゲット	具体的な取組
12	自社のSDGsの取組みをマネジメントする担当者や担当部署を設置し、CSV(※)などを適切に推進すると共に、災害時等の事業の継続や事業承継など持続可能な事業経営に取り組んでいる。	経済・社会 (持続可能性)					<ul style="list-style-type: none"> 団体として取り組むSDGsターゲットを決定し、子どもの貧困の連鎖を生まない社会、食品ロスを生まない社会づくりに向けた取組を行っている。 SDGsに関する冊子を発行し、SDGs担当者を設置している。(2020年) SDGs研修を実施予定としている。 2019 北九州 SDGs 未来都市アワード SDGs 大賞受賞 	ゴール	指標
				11.b	12.6	13.1		ゴール1	社会(2)①
								ターゲット	具体的な取組
							1.2	社会(2)ウ	

※CSV(Creating Shared Value: 共通価値の創造)
企業が社会課題に取り組み、社会に対して価値を創造することでビジネス(経済的な価値)を創出すること。

SDGs達成に向けた宣言書

宣言日 令和3年9月27日

団体名 特定非営利活動法人
フードバンク北九州ライフアゲイン

私たちは、SDGsの内容を理解し、SDGsの達成に向けた方針及び取組を以下のとおり宣言します

◆ SDGs達成に向けた取組方針等

当団体は、「すべての子どもたちが大切とされる社会」の実現を目指し、子どもがその生育環境によって左右されることなく、未来を選択できる社会づくりに向けた取組を行っています。

活動は主に生活困窮状況にある子育て世帯への支援を行っており、食品ロスを活用した食料支援を入り口として、子どもの学習支援や親の自立支援、子ども食堂の運営や展開により、子育て世帯を地域ぐるみで支える仕組みづくりを行っています。また、子どもの貧困や食品ロス問題を根本から解決するための挑戦を続けることによる持続可能な社会づくりを目指していきます。

◆ SDGs達成に向けた重点的な取組

達成を目指す分野に「○」	SDGs達成に向けた重点的な取組	指標(KPI) ・目標値		最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組 ※どちらか一方のみの記載で構いません。
		指標(KPI)	目標値	
経済	食品ロスを削減するフードバンク事業の展開と市民への普及啓発 (①フードドライブによる食ロス啓発推進を行う。 ②余剰米の寄贈によるコメの廃棄抑制、及び常時不足するお米の安定的な供給を行う。)	指標(KPI)	食品取扱量	指標
社会		目標値		環境(2)①
環境 ○		2023年 (その他の場合) ()年	2020年90t/年 ↓ 2023年120t/年	具体的な取組 環境(2)ウ
経済 ○	生活困窮状況にある子育て世帯への包括的支援 (①LINE等のツールを活用し、支援の受けやすさを改善する。(2020年度登録者470世帯) ②現在支援している“つながり世帯”の拡大に対応できる職員の体制強化、連携支援のデザインなどを行い、包括的支援が行える体制準備を行う。)	指標(KPI)	LINE登録世帯数	指標
社会 ○		目標値		社会(4)①
環境		2023年 (その他の場合) ()年	2020年470世帯 ↓ 2023年750世帯	具体的な取組 社会(4)ウ
経済	子ども食堂の運営と普及、及び、子ども食堂を活用した子どもの学習支援 (子ども食堂が子どもの貧困の負の連鎖を断ち切るプラットフォームとなるためのモデル事業を実施する。)	指標(KPI)	子ども食堂のべ参加者数	指標
社会 ○		目標値		社会(4)②
環境		2023年 (その他の場合) ()年	2020年1,200名※ ↓ 2023年1,800名	具体的な取組 社会(4)ウ

※2020年度は正確な人数把握を行っていない

記載について

- ・ 「SDGs達成に向けた重点的な取組」は、3つまでご記入できます。
- ・ 必ず全ての分野(経済・社会・環境)の達成を宣言してください。
(1つの取組みで3つの分野を達成しても、複数の取組みで3つの分野を達成しても構いません)
- ・ 指標(KPI)は、原則として数値目標を記載してください。

地域課題への取組み

団体名 特定非営利活動法人
フードバンク北九州ライフアゲイン

私たちは、地域課題の解決を通じてSDGsを達成するため、北九州市の取組みに参加しています（今後、参加します）。

取組名	具体的な取組内容
14 「北九州市における子ども食堂の支援に向けた取組に関する協定」の締結	①北九州市で初の子ども食堂を立ち上げたリーディング団体として、市内の子ども食堂立上げ支援を行っている。近年は、市内の飲食店を対象に、食事代の一部で子ども食堂に支援する仕組み「ランチ・フォー・チルドレン」の普及拡大を行っている。 ②市内すべての校区への子ども食堂設置に向けた取組を“子ども食堂ネットワーク北九州”と連携して行っている。
17 食品ロス削減サポーター	①食品ロス削減に関する啓発活動等を通じ、食品ロス削減サポーター登録を後押ししている。 ②団体としてサポーター登録を行う予定である。
12 いのちをつなぐネットワーク事業	いのちをつなぐネットワークに相談のあった、生活困窮者に対する緊急食料支援を行っています。その中で、特に子育て世帯に対しては、生活が安定するまで繋がりを絶やさず、食料支援や包括的支援につなげる活動を行っている。
8 地域コミュニティ活動への参加	①スタッフが毎朝6時に、事務所のある中央町商店街の清掃活動を行っている。 ②商店街イベントへの参加、支援を行う。今後、商店街での子ども食堂運営支援を予定している。

記載について

- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」の中から、現在取り組んでいるもの（今後取り組むもの）を少なくとも一つ選択し、具体的な取組内容を記載して下さい。
- ・これから取組みを始める場合は、選択した取り組みの担当部署に連絡をし、所定の手続きを済ませた上で本書を提出して下さい。
- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」以外で、貴団体が自主的に行っている取組みについても、併せて記載いただいても構いません。